

# 触れよう最先端技術

飯島小 口ボット製作挑戦



製作したロボットをパソコンで操作する  
=市立飯島小学校児童

ミングの基礎、ロボット操作などを学んだ。

集大成となつた17日は各3人のグループに分かれ、

日常生活にあれば便利なロ

ボットをテーマに、目覚まし型、荷物搬送型、ごみ分

別型といったアイデアを出し合つた。その後パソコン

を操作しながら組み立てた

が、思うようにロボットが動かすに頭を抱える児童

も。同社員や岩崎学園情報

科学専門学校（同市神奈川区）の学生のアドバイスを

受けながら作業を進めた。

新保驍君（11）は「ロボットに触ること自体初めて。作る体験ができるて楽しめた」と話した。市は今後も他の教育現場でICTを活用した取り組みを導入できないか検討する。

最先端技術を使って地域の課題を解決する授業が17日、横浜市栄区の市立飯島小学校（尾上伸一校長）で開かれた。5年生の児童66人がロボット製作に挑戦し、日常生活に役立つロボット活用策を発表した。

ICT（情報通信技術）を生かして子どもたちに科

学技術の面白さを体感してもらおうと、市とコンサルティング大手アクセンチュア（東京都港区）が今月締結した包括連携協定の一環。

授業は8日からの3回構成で行われた。児童は過去2回の授業で同社員からロ

（松村祐介）